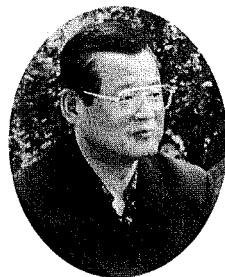


くすのき講座

第一回

親しまれる法曹の養成

東洋大学 法科大学院院長 今上益雄 (高一〇回)



「くすのき講座」で話した内容に触れましょう。いささか堅苦しさは免れませんが。

現行司法試験の合格率は3%前後で推移して来ましたが。超難関である反面、一発勝負型の点のみによる試験では、受験生が解答技術ばかりに目を奪われ、豊かな知識や柔軟な考え方を持った人材が合格できない、との批判もありました。法科大学院は、こうした反省から平成16年4月に創設されました。そこでは「理論と実務の架橋」を意識し、少人数教育を基本とし、双方向的で密度の濃い授業を展開、法曹すなわち裁判官、検察官、弁護士への育成に特化した教育を行うプロフェッショナル・スクールとしての責務を期待されました。この趣旨にそって新司法試験は修了者の7/8割が合格できるように構想されました。

とする法務省素案が明らかにになると、法科大学院側から「創設の趣旨に反する」とか、過去に犯した過ちである「受験重視に逆戻りする」とかの不満が続出しました。その一端は早くも「法科大学院教育と新司法試験」をテーマにした早大早稲田キャンパスで開かれた公開シンポジウムの席上であらわれしました。中大法科大学院における「公法上」(憲法統治機構)の受講生の一人(女性)は、受講後の感想として「授業では司法試験に直結しない外国の法制度には論及して欲しくない」旨の発言をしました。会場で傍聴していたわたくしは、思わず耳を疑いました。このような思考は、「受験技術優先」という誤りを犯しているばかりでなく、「21世紀の司法を支えるにふさわしい質、量ともに豊かな法曹を育成する」という司法制度改革の本旨にもとるからです。その後、私を含む名古屋以東の東日本法科大学院長の積極的な働きかけもあり、司法試験委員会は昨年2月に新司法試験の合格者を9000/10000人に設定、合格率を5割前後としました。もともと、新司法試験は法科大学院の終了後5年間に3回受験することができま

すので、平成19年度は3年コースの初修了者と2年コースの修了者が初年度の不合格も加わり受験者数が激増することも十分に予想されます。これに対応するため平成18年度以降の合格者数は初年の2倍程度に増やし、平成22年度には3000人とし、また5年間依存する現行司法試験の合格者は今年度は5000/6000人、来年は3000人程度、その後はさらに減らす方針のようです。

東洋大学法科大学院は、定員は50人、内2年コースの既修生20人、3年コースの未修生30人という最小規模のもので、今年度には既修生24名が修了し、全員が新司法試験を受験しますが、優秀な院生が多く、好成績が期待されます。本学の法学部、大学院法学研究科の修了者に特別な対応をしていない(平成17・18年度の入学者は0人)にもかかわらず、志願者数は平成17年度は全国2位、同18年度は4位の実績を残しています。既修者については、現行の法律専門科目、憲法、民法、商法及び刑法を公法系、民事系、刑事系に分けるなど、試験科目の変更も考えています。新司法試験では、短答式、論文式のいずれでも民事系科目のウエイトが圧倒的に重視されており、何よりのそのサポートが肝要と思われるからです。

第二回

心臓で死ねなくなった 狭心症と心筋梗塞の歴史

東京ハートセンター 放射線同位元素センター所長 田中 健 (高一五回)



最近の医学の進歩は目覚ましいものがあり、不慮の死を伴う危険が高い心筋梗塞の前駆状態を無症状の内に、一時間程度の外来検査で検出出来るようになり、しかも三〜四日の入院で安全確実に治せるようになった。ここに至るには長い苦闘の歴史があった。

医学は医療であり加持祈祷であった。突然に金縛りに会った様に動けなくなり、時に死に至り、時に嘘のように軽快する苦しみが存在した。術を持たない古代においては祈るしかなかった。癩なる言葉が生まれた。元氣であった人が突然に苦しみ、死んでしまう出来ごととは我々に底知れぬ不安感を、それどころか恐怖感を与えてきた。この様な不慮の死を伴う、現在は狭心症、心筋梗塞として知られている独特な苦しみを特徴とする発作があった。この発作の臨床像は以下のように複雑怪奇なものであった。金縛りになるように動けなくなっても発作が軽快すると何事もなかったようになつた。たった一回の発作で死に至ることがあった。何回も同じ様な発作を繰り返した

り、段々と増加した発作が突然に消失もした。数年置きに発作が生じることもあった。この不可思議な病気は症状から狭心症と呼ばれた。また亡くなった解剖例では心臓の筋肉に壊死が認められるので心筋梗塞とも呼ばれた。狭心症が心筋梗塞に移行することがあり梗塞前狭心症という診断がなされることもあった。臨床症状から定義された狭心症と解剖所見から定義された心筋梗塞の差異は長い間循環器学の大きいテーマであった。

医学は経験の積み重ねでもある。現象を観察した結果から真実を見付け出す。今でこそ急性心筋梗塞の診断基準となつている心電図の特徴的ST変化は不整脈の検査中に発見された異常所見を集め整理した結果であった。狭心症発作が心筋梗塞に移行するかが診断できるようになり、心筋梗塞の急性期に在りとならぬ不整脈が出現し、これが突然死の主因であることが明らかとなつた。多くの亡くなった方の解剖から心臓の筋肉に栄養を送っている冠動脈にコレステロールが集積した狭い部分が存在していることや新しい壊死心筋に古い壊死心筋が混在していることがみつかった。冠動脈の狭い部分と心筋梗塞との間には密接な関係が推定された。検査が進歩して細いカテーテルと呼ばれる管を心臓まで挿入する冠動脈造影法により生前に冠動脈の狭窄を知

(完)

ることが出来るようになったのが一九五九年であった。しかし心筋梗塞で助かった人に検査を行っても詰まった部位が見当たらないことが多かった。狭心症の人の検査を行っても狭い部分が見当たらないことが希でなかった。狭窄部分にバイパス手術をすると狭心症が改善し、心筋梗塞が防げるようになった。冠動脈造影法は危険ではあるが有用なので、技術的開発が進行して容易となった。検査中に狭心症発作が偶然生じて、冠動脈の狭窄が時間経過と共に変化する『血管が痙攣する』ことが発見されたのは一九六五年頃であった。痙攣を予防出来る薬が開発され、一部ではあるが狭心症発作を予防出来るようになった。

教科書に切迫性心筋梗塞という名前のある時代に医師となり東京女子医科大学心臓血圧研究所に一九七七年から勤務することとなった。狭心症ではニトログリセリンが有効だが心筋梗塞では無効なことが理解に苦しむことであった。この頃、冠動脈造影が既に行われていながら心筋梗塞で不幸にして亡くなった患者さんの冠動脈を詳細に検討し、狭い部分に局限して血栓が存在することが見付かった。また急性心筋梗塞の発作の真つ最中に冠動脈造影がなされて詰まっている部位がみつかった。冠動脈の狭窄部分で血液が急激に固まりその部位に血流遮断が生じ、延いては心筋壊死が生じると考えられるようになった。狭い部分に対して緊急にバイパス手術がなされた。急性期に閉塞部位の血栓を溶かす試みも始まった。侵襲の大きいバイパス手術に対して風船で狭い部分を広げる手段

が一九七七年に始まり、本邦でも一九八二年には行われるようになった。再び狭くなる例が経験されたが有効な例も多く、手術に比べ格段に容易で安全なので普及した。再狭窄を避ける様々な工夫がなされ、道具も多様化した。亡くなられた患者さんの再狭窄部位を検討し血管内膜の異常増殖が検出された。一九八八年には動脈硬化の主因であるコレステロールを下げる画期的な薬が開発された。虚血発作による壊死を免れた心筋の壁運動は経過と共に、一週間以上掛かって改善することが経験されるようになった。最近の一〇年間は再狭窄対策と容易な冠動脈の狭窄検出手段の開発が精力的になされてきた。

この領域で最近になり画期的な進歩、二〇〇四年に薬剤溶出ステントが、二〇〇五年に多検出器型CTが実用化された。風船で広げられた狭窄部位の壁は脆弱なので網目状の筒、ステントで補強されていた。再狭窄の主因である異常増殖を抑制する薬をまぶしたステントが開発された。脆弱な壁を補強すると同時に高濃度の薬剤を塗布することが可能となった。再狭窄率は従来三〇%前後であったが三%以下に激減、同時にバイパス手術の減少となった。冠動脈の狭窄部分の早期発見の試みは残念ながら危険を伴うカテーテルを用いた冠動脈造影法をどの様に安全に行おうかの試みであった。この危険性のため冠動脈造影法は少なくとも病気が疑われる人に限らざるを得なかった。コンピュータの進歩により外来で安全に使用出来るCTを用いて冠動脈の狭窄を知ることが可能になった。この二つ

の進歩は画期的なものであった。胃カメラより容易で安全に冠動脈の狭窄部位を検出することが可能になり、しかも検出された狭窄をカテーテルを用いて治せる。心筋梗塞を未然に治せるようになった。最近では狭心症と心筋梗塞の病態は以下のように考えられている。冠動脈に狭窄が無くとも痙攣によって狭窄が一過性に生じ、このため狭心症が引き起こされる。何回も同じ様な発作を繰り返す狭心症の原因である。動脈硬化による狭窄部位で血液が固まったり、溶けたりすると狭心症発作が頻発する。固まったままだと心筋に壊死が、心筋梗塞が生じる。心筋梗塞が完成すると固まっていた血栓は溶けて狭窄が残り、また狭心症状態も消失する。段々と憎悪した発作が突然に消失することの機構である。冠動脈は何本もあり、狭窄の程度は様々である。従って心筋梗塞が時を変えて生じること、新しい心筋梗塞と旧い心筋梗塞が共存することも不可思議でない。

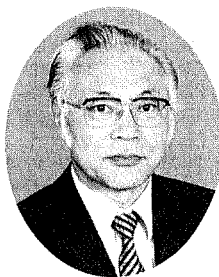
最近の三〇年間、病気を知らずにより治療が進歩し、この結果新しい病態が出現、それに対応した治療手段が開発された。検査手段と治療手段が車の両輪の如く互いを補いあつた歴史であった。治療の進歩には知識の集積が不可欠で、不幸にして無念の死を遂げざるを得なかった多くの方々のご遺族の協力なくしては治療の進歩は得られなかった。心から御冥福をお祈り申し上げます。

狭心症や心筋梗塞が御心配な方に対応致します。携帯090-670210412です。

第三回

英語は外国語

松井 頼敏(高四回)



「英語を上手になりたい。でも……。」

過去二十年ほど、私が英語を教えてきた数多くの大学生が、異口同音にこういう。「でも……」に続く言葉はいろいろある。街で英語で道を聞かれても、とっさに答えられない。映画を見ても英語が聞き取れない。英語の歌の意味がわからない。

実のところ、これが中学、高校と、立派な教材で英語を習ってきた日本の大学生の、平均的な、情けない英語力である。ここで、はるかしく、口惜しく、またみつともない思いをしない大学生になるには、高校時代からどんな心構えで英語を勉強したらよいか、考えてみたい。

■ニヤール・パーフェクト

いうまでもなく、英語は外国語である。生まれながらに英語で育ってきた人たちと、中学から習い始めた人たちとは競争にはならない。日本人に多い完璧主義者にならないでほしい。完璧主義を貫こうとするにつらくなる。私がおすすめるのは「ニヤール・パーフェクト」を目指すこと。こう思えば肩の荷が軽くなる。

もうひとつ大切なのは、何のために英語を勉強するのか、である。道案内、買物での値下げ交渉、だけではあまりにもさみしい。英語は「千夜一夜物語」で、アリババが唱えた「開けゴマ」の呪文に例えられよう。つまり、英語という呪文を唱えれば、いろいろな外国人とつき合うための扉が開けられる。

■あこがれ

私が川越中学校へ入学したのは昭和二十一(一九四六)年。この前年に戦争に敗けた日本には、進駐軍とよばれた主にアメリカ兵が川越付近にも駐留しており、世の中、英語でなければやっていけないような雰囲気があった。

私が生まれ育った村の近くには、ジョンソン基地があった。現在の入間基地である。日本人が立ち入れなかったフェンスのむこう側には、芝生の中に並ぶごきれいな米軍住宅や、そこに入りするアメリカ人が、夢の中の景色のようで、いつの間にか英語に対する「あこがれ」が私の中に芽生えた。

そんな時、川中の先生方は基礎から英語の指導にあたられた。英語の発音記号を教わったのが中学一年生。今日の大学生でこの発音記号が読み書きできるのはごくまれ。辞書を引いて発音記号が正確にわかれば、さきのトリノオリンピックも、日本語流の発音であるのがすぐわかる。英語国民と話すときは、日本語流カタカナ英語の発音ではわかってもらえないことが多

い。発音記号の大切さを再認識してほしい。

朗読

大学生ばかりでなく、日本人の殆どが英語をしゃべりたいと思っ
ている。会話学校のコマーション
もテレビを賑わしている。しかし
ここで冒頭の「でも……」につき
当る。これを踏み越えるにはどう
するか。

高校で使っているリーディング
の教科書の内容は非常に高度であ
り、けっこう面白いものもある。こ
れを会話と結びつけない法はない
どんなリーディング教材でもい
から、大きく声を出して読むこと
から始める。最初は発音の上下手
手は問わない。例えていえばカラ
オケで繰り返し歌いながら歌をお
ぼえるように。決しておすすめし
ないのは、僧侶の読経のような一
本調子で読むこと。いつの間にか
文章が頭に入り、口が覚えてくれ
る。大きい声での音読がおすすめ
読むのは長文が多いから苦手、
という声もある。しかし、長文は
短文がつなぎ合わされたものだと
いうことを知ってほしい。自分の
好きな表現に出合ったらそれを暗
記する。名文句はいくらでもある
たとえばジョン・F・ケネディ元
アメリカ大統領の演説。「国が自分
に何をしてくれるか問うな。自分
が国に何を出来るかを問え。」図書
館で英語の引用句辞典を引けばあ
るはず。英米人には、こういう名
文句をさり気なく自分の言葉に入
れてくる場合が多い。

漫画

演説は長すぎてどうも、という
人には英語の漫画がおすすめ。故
チャールズ・シユルツのピーナツ
ツ。スヌーピーといえはもつとわ

かりが早いかも知れない。この漫
画に登場する人物や犬のスヌーピ
ーの英語はきちんとしているので
楽しい。英語の擬音・擬声語の宝
庫も漫画である。漫画の登場人物
の言葉は吹き出しの中におさま
るのだから長文にはならない。主
人公になったつもりで大きい声で
しゃべるのもいい勉強になる。

聞き取り

聞き取りもむずかしい。外国人
がしゃべる英語を聞く機会があま
りないことによる。私が英語を聞
くようになったのは中学一年生の
頃。NHKラジオ放送の講座にあ
った、小川芳男先生の基礎英語と
平川唯一先生のいわゆるカムカム
英語。前者からは基礎をバッチリ
後者からは自然な言いまわしを教
わった。他に米軍用の「進駐軍放
送」があったが英語が本物過ぎて
とても理解不可能であった。テレ
ビ放送の始まる遙かに前の時代だ
ったので、小川・平川両氏のラジ
オの英語が耳から入る唯一の本式
のものだった。役に立った。

今日では、ラジオ・テレビ・映
画など目から耳から英語が入って
くる。材料があり過ぎて困る。こ
こで大事なのは、全部聞き取って
理解しようとするということであ
る。ひとつでもふたつでも耳に残って
理解できる単語があればよい。完
壁主義は英語学習の大敵である。
どんな人でも、国籍に関係なく
明快な発音をする場合と、なまる
場合がある。私たちはコメはライ
ス、右はライトという発音に慣れ
ている。私は、英国・ロンドンの
南西約二百キロの保養地ポーンマ
スに約二ヶ月滞在した。現地の人
たちはコメをロイス、右をロイト
と聞こえるように話していた。山

形県なまりの日本語を話すアメ
リカ人もいるように、オーストラ
リアや米国南部のなまりで話す日
本人がいてもいい。

再び朗読

高校のリーディング教材も立派
だが、大学のものは、学部や教師
にもより「高級感」指向とでもい
うのだろうか、むずかしい物が多い。
英語を好きになって行くには、や
さしく面白い内容の読み物がよい。
英文科の学生になって、私は本
格的に英語の「原書」とつきあつた。
片道一時間の電車通学で学んだの
は、辞書を引かずに読み流すこと
だった。わからない単語はそのま
まにしておいても英語に慣れるよ
うになった。今思えば、もつとや
さしい作品を読めばよかった。

慣れのためには、やさしい文章
で、しかも会話が随所にある童話
がよい。「熊のプーサン」「メリ
ポピンズ」「ドリトル先生」、英訳
された「星の王子さま」など、今
でも私は好きである。最近のもの
では「ハリーポッター」シリーズ
がある。四巻以降は頁数が多いの
で、英語に自信のある人でも三巻
までがおすすめ。

ミステリー好きにはアガサクリ
スチーをおすすめする。頁数も適当
で、英語の慣用句の宝庫でもある。
犯人探しをしながら筋につられて
読み進むのは慣れにもつながる。

大きな声で読んで慣れていくと、
前置詞やら接続詞、冠詞なども勘
でわかるようになる。大多数の英
語学習者が苦手とする文法も、そ
んなに苦にならない。高校生
にとつては大学受験というやっか
いな関所があり、文法は避けて通
れない。朗読で基礎文法は身につ

目的

何のために英語を学ぶのか。英
語を使って社会で働きたい希望者
が特に覚えておいて欲しいのは、
「英語は意思伝達の道具」という
ことである。ソロバンが計算の道
具であるように。英語を道具にす
る職業は、私もその一人だったジ
ャーナリスト、翻訳者、通訳者、
旅行関係、貿易関係に公務員、特
に外交官、など範囲は広い。しかし
その世界に入る門は極めて狭い。
「開けゴマ」で開いた扉に入つて
も宝が目前にあるわけではない。
宝に行き着くまで、毎日の絶え間
ない修行が待っている。プロへの
道はきびしい。英語と小まめにつ
きあう。英字紙を読み、衛星放送
でナマの英語を聞き、英語の週刊
誌をめくり、英語の本を読む。
忘れていけないのは、日本語を
大切にすること、外国語をもうひ
とつ覚えること。こうして言葉に
対する感覚をつかむ。

更に大切なのは英語国民のこと、
つまりこの人たちの文化になじむ
ことである。文化的背景を知つて
はじめてその言葉の面白さがわか
る。同じ漫画を見ても、面白いと
思う人とそうでない人がいる、ど
うして？ 私も毎朝、英字紙連載
の漫画十本のうち六本は必ず見る。
面白さのわからないもの時にはお
目にかかる。

川高生で英語に生きてみたいと
思う人は、文化を含め、一般教養
を身につけてほしい。それから特
に日本のことも。手に入れた英語
の道具を使って一般教養——雑学
という人もいる——を深めるんで
す。グッド ラック。(終)

